

学習指導の充実について

(平成15年3月 全国都道府県教育長協議会)

○調査時期 平成14年6月～7月
○調査対象 47都道府県教育委員会

【習熟度別学習を実施する上で国、学校において取り組むべき課題】

国において取り組むべき課題

教員の 加配	教員の加配制度の充実や第7次教職員定数改善計画の推進	3.2県
	小規模校への教員加配の推進	1県
研究 ・開発	指導事例集や手引きなどの作成	7県
	学習教材の開発	2県
	調査研究の実施とその成果の周知	2県
	先進的研究開発の推進	1県
啓発 ・周知	習熟度別学習に対する国民全体への啓発やアピール	4県
	先進的な取組事例や習熟度別学習の成果に関するデータを収集し、広く周知する。	2県
研修等	模擬授業等のセミナーの開催	1県
	習熟度別学習指導に関する教員研修の実施	1県
	各都道府県の情報交換等のための研究協議会の開催	1県

(複数回答)

学校において取り組むべき課題

研究・開発	指導計画の作成や指導方法の改善に関する研究の推進	23県
	生徒に身に付けさせたい力を明らかにすること	1県
	教材の開発	5県
	教育課程の編成に関する研究の推進	2県
	習熟度別学習における評価の研究の推進	7県
	習熟度別の学習集団編成に関する研究の推進	6県
教員の研修	校内研修の充実	2県
	教員の指導力の向上	1県
	取組体制や研修体制の確立	1県
教員の理解	習熟度別学習に対する教員の理解を促進し、学校全体として取り組む。	11県
児童・生徒への啓発	習熟度別学習に対する児童・生徒への啓発	2県
	児童・生徒への心情面での配慮	1県
保護者等への啓発	習熟度別学習に対する保護者等への啓発や説明	19県
	習熟度別学習に対する評価を行い、保護者等に対して、その成果を明らかにし、理解を求める。	3県
	加配教員の有効活用に関する説明責任及び成果等に関する評価の実施	1県
開かれた学校づくり	学校と地域の信頼関係を一層高め、学校と地域で子どもを育てるシステムを構築する。	1県
	開かれた学校づくりの一層の推進	1県
その他	実施可能な教科から、まず取り組むことが必要	1県
	教員の加配の有無にかかわらず、取組を進めることが必要	1県
	創造的な取組を行うこと	1県
	教員間の打合せのための時間の確保	2県
	学習場所の確保	2県
	教員の授業時数の増加にともなって、教育相談や緊急時の対応などをどうしていくか。	1県

(複数回答)

【習熟度別指導を実施する上での課題（小学校）】

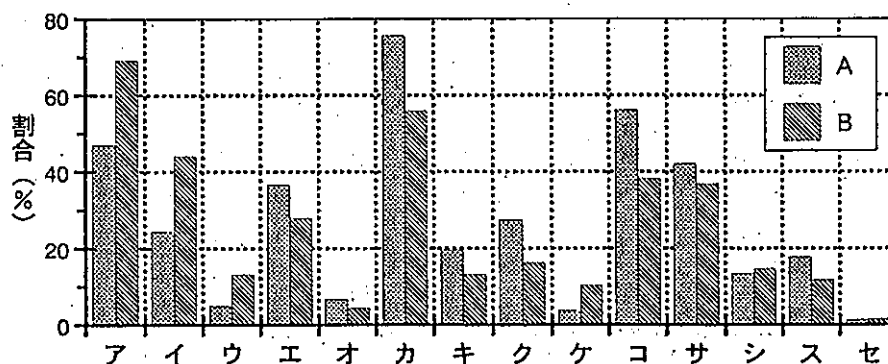
A：習熟度別学習を実施している学校
B：習熟度別学習を実施していない学校

	A	B	全学校
ア 習熟度別に学習集団を分けることに対する保護者の理解	47.0%	69.1%	53.4%
イ 習熟度別に学習集団を分けることに対する児童の理解	24.4%	44.1%	30.2%
ウ 習熟度別に学習集団を分けることに対する教員の理解	4.9%	13.2%	7.3%
エ 学習集団の編成方法	36.6%	27.9%	34.1%
オ 教員の負担	6.7%	4.4%	6.0%
カ 教員間の打合せ等のための時間の確保	75.6%	55.9%	69.8%
キ 学習場所の確保	19.5%	13.2%	17.7%
ク 時間割編成や授業の振替	27.4%	16.2%	24.1%
ケ 学級の枠をはずすことによる、学級経営への影響	3.7%	10.3%	5.6%
コ 習熟度別に分けた各学習集団における評価の在り方	56.1%	38.2%	50.9%
サ 習熟度別に分けた各学習集団における適切な指導内容の策定	42.1%	36.8%	40.5%
シ 当該教科等について、週のうち一部の時間のみ習熟度別による学習集団に編成することによる、指導内容や進度の調整	13.4%	14.7%	13.8%
ス 学年全体としての指導内容や進度の調整	17.7%	11.8%	15.9%
セ その他	1.2%	1.5%	1.3%

（4項目以内で複数回答）

習熟度別学習を実施する上での課題（小学校）

－習熟度別学習を実施している学校(A)と実施していない学校(B)との比較－



【習熟度別指導を実施する上での課題（中学校）】

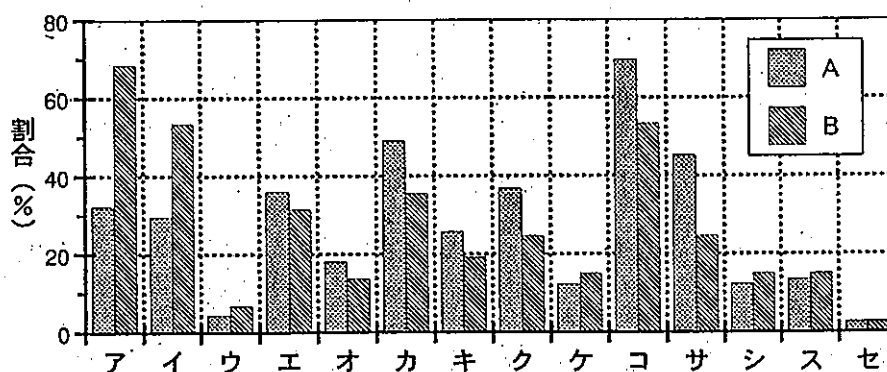
A：習熟度別学習を実施している学校
B：習熟度別学習を実施していない学校

	A	B	全学校
ア 習熟度別に学習集団を分けることに対する保護者の理解	32.3%	68.5%	43.9%
イ 習熟度別に学習集団を分けることに対する生徒の理解	29.7%	53.4%	37.3%
ウ 習熟度別に学習集団を分けることに対する教員の理解	4.5%	6.8%	5.3%
エ 学習集団の編成方法	36.1%	31.5%	34.6%
オ 教員の負担	18.1%	13.7%	16.7%
カ 教員間の打合せ等のための時間の確保	49.0%	35.6%	44.7%
キ 学習場所の確保	25.8%	19.2%	23.7%
ク 時間割編成や授業の振替	36.8%	24.7%	32.9%
ケ 学級の枠をはずすことによる、学級経営への影響	12.3%	15.1%	13.2%
コ 習熟度別に分けた各学習集団における評価の在り方	69.7%	53.4%	64.5%
サ 習熟度別に分けた各学習集団における適切な指導内容の策定	45.2%	24.7%	38.6%
シ 当該教科等について、週のうち一部の時間のみ習熟度別による学習集団に編成することによる、指導内容や進度の調整	12.3%	15.1%	13.2%
ス 学年全体としての指導内容や進度の調整	13.5%	15.1%	14.0%
セ その他	2.6%	2.7%	2.6%

（4項目以内で複数回答）

習熟度別学習を実施する上での課題（中学校）

－習熟度別学習を実施している学校(A)と実施していない学校(B)との比較－



【発展的な学習のとりえ方】

	都道府県 教育委員会	小学校	中学校
ア 児童生徒の能力・適性を伸長する学習	38.3% (93.6%)	38.3% (77.4%)	37.0% (80.6%)
イ 児童生徒の理解を深めたり理解の幅を広げたり するために付け加えて行う学習	23.4% (91.5%)	22.9% (78.8%)	17.1% (69.4%)
ウ 児童生徒が身に付けた知識や理解した内容を活 用して、探究・創作・表現などをする学習	19.1% (74.5%)	12.7% (71.2%)	15.3% (70.4%)
エ 児童生徒の理解の程度に応じて応用問題などに 取り組ませる学習	6.4% (68.1%)	16.6% (85.6%)	13.5% (74.1%)
オ 児童生徒の興味・関心に基づく学習	6.4% (53.2%)	5.7% (50.7%)	10.8% (53.7%)
カ これまでの学習指導要領および現行の学習指導 要領にない内容の学習	4.3% (21.3%)	0.0% (6.8%)	2.7% (13.9%)
キ これまでの学習指導要領の当該学年から、上の 学年や学校に移された内容の学習	2.1% (12.8%)	1.3% (7.5%)	0.9% (8.3%)
ク これまでの学習指導要領から削除された内容や 上の学年や学校に設定された内容の学習	0.0% (21.3%)	1.9% (19.2%)	2.7% (22.2%)
ケ その他	0.0% (0.0%)	0.6% (2.1%)	0.0% (1.9%)

(※) 上段は「最も適当なもの」を一つ選択した回答の、下段は「適当なもの」として複数回答を可として選択した回答の割合を示す。分析は、「最も適当なもの」について行った。